

※ 1 枚ずつお取りください。

川上校区 第162号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL (62) 5775 FAX (62) 5775
E-mail : kkawakami@city.saga.lg.jp

川上のアオバズク

令和8年(2026年)1月

佐賀市の人口 225,503人

川上校区の人口 5,758人

川上校区の世帯数 2,284世帯【令和7年11月末現在】



作品名：「どんぐりの家」

川上小3年 中溝 琉偉さん（於保）



新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。令和7年は、政治・社会面で多くの出来事が起こりました。大阪万博の開催・佐賀駐屯地の開設・国政選挙では参議院議員通常選挙が行われ、与党が過半数割れとなりました。そして女性初の内閣総理大臣が誕生しました。また、様々な要因から、「令和のコメ騒動」を引き起こし新年に入ってもコメ価格の高止まりが続いています。生産者である農家の苦労に見合った価格設定がなされ安定供給につながればと思います。

公民館運営においては 10 月 1 日以降の利用形態の変更に伴い、スケジュール的に多忙な日々が続きました。そんな中、社会教育の推進はもとより、公民館の多様な活用実証実験や小学校との連携などで事業低下を招くことなく、関係者の協力により事業進捗が出来たことを職員一同感謝しております。これからも地域に根ざした公民館運営を心掛け職員一同頑張っていく所存です。最後に校区住民の皆様にとって心身共に穏やかな日々であることを願って新年のご挨拶とさせていただきます。



川上校区公民館館長 千住 一成

主事 永代 俊嗣

事務職員 森永 美香



大規模地震が発生したとの想定で 住民参加の避難訓練を実施します



期 日： 2月22日（日）小雨決行（悪天候の場合は、午前7時に態度決定します。）

目 的： 2月は川上校区の防災月と定められています。豪雨や地震など、頻繁に起こる自然災害に対し、日頃の訓練と自身への備えがあって身の安全を守ることができます。犠牲者を出さない災害に強い川上を目指すことを目的に実施されます。

訓練内容： 一次訓練、二次訓練 ※内容については単位自主防災会長又は自治会長の指示による。
午前8時に防災無線での避難呼び掛け、午前8時30分から消防団による逃げ遅れ者を想定した避難呼び掛けを行う。今年も大規模地震を想定したものです。

対 象 者： 川上校区全27自治会の一般住民

実施主体： 自主防災会本部、単位自主防災会（自治会）、校区公民館、佐賀市消防団大和支団（第4・5分団）まちづくり協議会、自治会女性部、校区社会福祉協議会

※この訓練は、川上校区自主防災会本部・単位自主防災会主導で行われます。※写真は過年度の様子



避難呼び掛けと情報収集の出発式



一次訓練（自治会が指定する安全な場所へ避難者の集合）



情報収集のための合同本部

※詳細については、川上校区公民館（Tel62-5775）に問い合わせ下さい。

公民館主催・共催講座等の報告

みかん木オーナーの皆さんが家族連れで収穫を楽しみました

今年度で5年目の取組みとなる「みかんの木オーナー制度」、11月から12月の収穫時期を迎えた土日には、今年も楽しみにしていたという子ども連れの家族や友人同士が、秋晴の下、収穫と川上の自然を満喫していました。

【収穫取材日：11月29日(土)・11月30日(日) 参加者18組 21本 公民館・まち協共催】



秋晴れの下木々の色づいた紅葉を眺めながら家族連れでみかんの収穫を楽しみました



花と緑を楽しむ「秋の寄せ植え教室」を開催しました



佐賀市みどりのカウンセラー中川達也氏による、これからの季節を楽しむ寄せ植え教室を開催しました。秋から楽しむ花や、鉢植えの管理、見栄えのする配置、相性のいい色の組み合わせについて学びました。それぞれが思い思いの花をセレクトして自分だけの一鉢を完成させました。水やりや、追肥、花摘みなどの管理で春先までも楽しめるということで、参加者の皆さんに笑顔が咲きました。

【於：校区公民館 11月5日(水) 参加者：12名 公民館主催】



講師の中川氏による座学



花を見定めてセレクト



寄せ植えを完成させました



最後に全員で集合写真



子育て応援事業(5)「おやつ作り」を行いました



「子育て応援事業(5)「おやつ作り」に乳幼児とその保護者4組が参加しました。川上五色まんじゅうプロジェクトチームの松崎さんと山口さんの指導でかわかみ五色まんじゅう(ヨモギ・みかん・ブルーベリー・スモモ・イチゴ)のみかんと何も入れないプレーンを作りました。前日に仕込み発酵させた生地を、切り分け蒸し上げる作業をしました。子どもたちと離れたつかの間の時間、お母さん同士の交流も行われました。【於：校区公民館 11月6日(木) 参加者：4組8名 公民館・まち協(子育て部会)共催】



調理室に入って早速おやつ作りに



ミカンまんじゅうの出来上がり



子育て部会が保育をサポート



最後に全員で集合写真を



今が旬・川上の地域ニュース



川上校区のシンボルマーク(ロゴ:アオバズク)

川上校区が永遠に発展を遂げ人と人とのつながりを生み、誇りやモチベーションを高めるために校区のシンボルマークを作成しました。今後、校区の自治会などあらゆる団体がシンボルマークを使用し、地域が連携することで相互の支え合いと連帯力につなげることを目的としています。

※川上校区に生息するアオバズクをモチーフにしたロゴマーク
令和7年(2025)11月5日(水) 作成



作成者: ロゴデザイナー 菅陽華



突然の「サプライズ・焼きたてパン」の贈り物



地域活動や地域交流など新たな自分を見つめなおす場として、活動されているゆめさが大学14期生、(実践課程2組)の皆さん「G&B(じいじ・ばあば)」から突然の贈り物をいただきました。

パンを焼いて人々に振舞ってみようと思い立たれた12名のメンバーが、今回初めて川上校区公民館で活動されている川上花しょうぶクラブ(健康体操 総数24名)の皆さんを対象に焼きたてのロールパンを振舞われました。また、メンバーの一人佐古弘子さんによる手品の御披露もありました。代表の栗林康之さんはパンを焼いて地域交流ができることがとっても嬉しく楽しいとおっしゃっていました。

【於：校区公民館 10月24日(金) ゆめさが大学12名、川上花しょうぶクラブ11名】



ゆめさが大学14期生
(実践課程)の皆さん



パンをお皿に丁寧に分けて
いただきました



川上花しょうぶの皆さん
美味しくいただきました



パンをいただきながらゆめさが
の佐古さんによる手品の御披露



川上小4年生「農業と食について学ぶ」田植え～稲刈り体験



川上小の4年生が6月の田植え体験から10月の収穫時期を迎えて稲刈りの体験をしました。今回も金丸さんをはじめPTAや学校運営協議会委員のみなさんがボランティアで参加して体験をサポートしてくれました。子どもたちは刈り取りから稲を干すまでの一連の作業までを体験しました。鎌を使った収穫に戸惑いながらも、徐々にコツを掴んだ様子で体験を楽しみました。児童からは「初めてだったけど、だんだんコツが分かって楽しくなってきた」などの感想が聞かれました。収穫したお米は学校のフリー参観デーでの販売や全児童でおにぎりにして食味するそうです。自分の口にするものがどうやって作られているのか、また、作ってくれる人への感謝の気持ちを学ぶために、毎年4年生を対象に農業体験を行っているとのこと。【於：川上小学校南圃場 取材日：10月24日(金) 4年生64名】



6月の田植えの体験の様子



金丸さんから稲刈り前のお話



初めて稲刈り用の鎌をもって体験しました



若い住職の皆さんの力が川上まちづくりを支援



川上校区では、各種団体(自治会長会・まち協・校区社協・自治会女性部)など年間を通してそれぞれが独自の活動を行っています。また、各種団体と連携を図りながら地域が抱える様々な課題解決に向けた取り組みも行っていて、活動は多岐にわたっています。今回は地域活動を支援していただく4人の若い住職(川上校区)の方々を紹介いたします。お寺などで地域向けの独自の取組みのほか、四季を通しての川上の良さをSNSで発信することなどを考えられているようです。

写真左から3人の住職(中村、平井、宇都)が新しくそれぞれの川上の寺院に新住職として着任されました。【寺院名・住職名・年齢・出身地】

実相院 中村 光雲 さま (63) 京都出身
健福寺 平井 亮昌 さま (51) 京都出身
明王院 宇都 影信 さま (44) 佐賀(諸富)
圓通院 於保 智広 さま (49) 佐賀(大和)



4人の住職の方から自己紹介
をしていただきました



川上校区 戦没者追悼 慰霊祭が執り行われました



川上校区戦没者追悼慰霊祭が執り行われました。慰霊祭は5年毎に開催されており、遺族や関係者53人が読経の流れの中、先の大戦で犠牲になった方へ追悼の意を表し、平和の誓いを新たにしました。

あいさつした校区遺族会会長の山下一夫会長(81)は、戦争遺児の平均年齢が84歳となっています。悲惨さや戦没者の無念さをこれから先もずっと後世に語り継いでいくことが、私たちの責務であることをお話しされました。【於：川上校区公民館 取材日：11月1日(土) 自治会長会主催】



追悼慰霊祭に遺族や関係者が
校区公民館に



導師の焼香並びに敬白文
(長谷寺 小林住職)



焼香並びに追悼の言葉
(遺族会会長 山下一夫様)



主催者挨拶
(高柳勉自治会長兼会長)



公益財団法人 金子財団から川上校区へ 「凧作り教室&凧あげ祭り」に金参拾参萬円の助成



11月6日(木) 令和7年度後期助成団体への贈呈式が、唐津シーサイドホテルで行われました。金子財団理事長の金子直幹氏からの挨拶で「青少年の健全育成、地域福祉の発展充実、文化の増進」など多大な貢献が期待される団体に対して交付される助成金です。これからも財団として、地域発展のために寄与していくことを述べられました。交付式では川上まちづくり協議会など、佐賀県内28の団体に対して目録が手渡されました。最後に助成団体を代表して音楽療法研究会よりお礼の挨拶がありました。



贈呈式の会場唐津シーサイドホテル



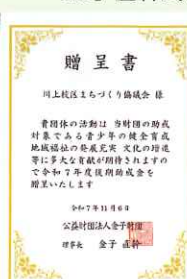
金子財団理事長
金子直幹氏からごあいさつ



目録を受け取る川上まち協
池田博司会長



金子直幹氏(前列左から5番目)
助成団体と記念写真



贈呈書と目録をいただきました



左から千住公民館長・
まち協池田会長・村島副会長



子どもへのまなざし街頭活動を行いました



佐賀市一斉「子どもへのまなざし」街頭活動を朝7時から1時間、自治会長会、交通安全協会、川上小お守り隊など12名が立石北交差点で児童・生徒の通学の見守り活動を行いました。この活動は、子どもたちの交通安全を願っての交通指導、また、あいさつ運動を通して子どもたちが安心、かつ健やかに育つ環境づくりのために年2回行っています。

【取材日：11月12日(水) 青少年育成大和町民会議(川上校区の各種団体による構成)】



車が多い時間帯の朝7時から8時まで学校に登校する小中学生や高校生の見守り活動をしました

1月の講座・行事等の開催日程 ※詳しくは12月号公民館だよりをご覧ください。

1月25日(日) 場所：はなはなパーク 9:00~受付 第6回 川上凧あげ祭りを開催します

1月25日(日) 場所：はなはなパーク 10:30~11:30 防災食(カレー)400食の炊き出し訓練